

年度	イスラーム・アラビア関連	キリスト・ユダヤ・ギリシャ他
BC29-AD14		オクタヴィアヌス、アウグストゥスの称号をうける
		イエスの誕生
34 36		アンティオキアのペテロ タルソスのサウロ（パウロ）回心
43		アンティオキアでクリスチャンと呼ばれるようになった（使徒行伝）
70		ローマによるエルサレム陥落
90？		マルキオン、グノーシス思想の台頭
112		トラヤヌス皇帝の勅令
117		ハドリアヌス帝在位（ - 38）
135		エルサレム神殿、聖墓の瀆神
138		アントニウス・ピウス帝在位（ - 61）
161		マルクス・アウレリウス帝在位（ - 80）
200		セプティミウス・セウェールス皇帝、キリスト教禁止令を公布
226		ペルシャ帝国内にササン朝成立（ - 651）
285		聖アントニウス、ベニ・スエフ（上エジプト）近郊で修道生活開始
288 (301？)		啓蒙者グレゴリウス、ティリダテス王を回心させアルメニア王国をキリスト教化
303		ディオクレティアヌス帝がキリスト教徒弾圧（ - 05）
300 - 325		セレウキア主教聖アガイ、ペルシャのキリスト教徒と連合
313		コンスタンティヌス皇帝、キリスト教を公認（ミラノ勅令）
317		パコーミオス、上エジプトで修道生活を開始
324		コンスタンティヌス皇帝、ビザンティウムを皇帝座と定める

325		第1回総会議、ニカイアで開催（最初の公会議）。アリウスを罷免（父子の同一本質、子の非被造物性を確認）
330		コンスタンティヌス皇帝、新都ビザンティウムへ遷都、コンスタンティノポリスと改名
330～50		東西に有力な教父たちが生まれる。 4C 後半には教父の黄金時代を迎え、キリスト教義と修道制確立の時代へ
356 頃	アラビア半島西南部のイエメンで、キリスト教の伝道が始まる	
361		ユリアヌス帝在位（ - 63）
375		中央アジアからフン族が来襲。ウクライナの東ゴート族を襲う
380		テオドシウス皇帝、キリスト教を国教化
381		コンスタンティノポリス総会議。 「ニカイア・コンスタンティノポリス信条」を宣言（聖霊の神聖を強調する）
392		テオドシウス帝がキリスト教を国教とする
395		ローマ帝国が東西に分裂
400		アウグスティヌス『告白』
392 - 405		教父メソロブ、アルメニアのアルファベットを発明、アルメニア聖書を訳出
416		キプロス協会の独立宣言
418		カルタゴ教会会議。ペラギウス派を排斥
431		エペソ総会議、ネストリオスを罷免
440		教皇レオ1世在位（ - 61）
451		カルケドン総会議、キリスト論で分裂（キリスト両性説を明確化

476		西ローマ帝国滅亡
486		セレウキア会議：ペルシャ教会、ネストリオス教義を受容
487	イエメンのヒルヤム王国最後の国王ズー・ヌワース即位（ - 525）	
491		ヴァガパート教会会議、アルメニア教会の独立を承認
493		テオドリック大王が東ゴート王に即位
496		フランク王クロヴィスの洗礼
5C 末	クライシュ部族がメッカを征服し、定住	
520		アルメニア教会（エチミアジン）、アンティオキアのセルヴェスの教義を受容しコンスタンティノポリスと断絶
524	ズー・ヌワイス、ナジュラーンでキリスト教徒を虐殺	
525	アビシニア王、イエメンに遠征してズー・ヌワースを殺す	
527		ユスティアヌス 1 世がビザンツ帝国（東ローマ帝国）皇帝に即位（ - 65）
529		ユスティアヌス 1 世がアテナイでの哲学教育禁止。アカデメイア閉鎖。 ベネディクトゥスがモンテ・カッシーノ修道院を創設
530 頃	アブラハ、イエメンに自立	
553		第 2 回コンスタンティノポリス公会議。オリゲネス断罪
537		非カルケドン派総主教アレクサンドリアに就任。コンスタティノポリスにハギア・ソフィア大聖堂建立
543		アンティオキアのシリア教会設立
590		教皇グレゴリウス 1 世在位（ - 604）

6C 中頃	クライシュ部族民、遠隔地通商に乗り出す	
570 頃	ムハンマドの誕生、アブラハのメッカ遠征と死（像の年）	
610	ムハンマド、神の啓示を受け、預言者としての活動を開始	ペルシャ軍アンティオキア、ダマスカス、（エジプト）を占領。エルサレムの聖十字架を本国に持ち去る。
614	ムハンマド、大衆伝道に踏み切り、クライシュ部族の迫害が始まる。	
615	イスラーム教徒のアビシニア移住	
616	クライシュ部族によるハーシム気の同盟排斥（ - 618）	
619	ハーシム家、ムハンマドに対する保護を取り消す。ムハンマド、ターイフで伝道を試みたが失敗	
620	ムハンマド、メディナの巡礼とひそかに会見	
621	第一のアカバの誓い（婦人の誓い）	
622	第二のアカバの誓い（戦いの誓い）。預言者ムハンマド、メッカからメディナへ移住（ヒジュラ）	ビザンツ皇帝ヘラクレイオス、反撃に転じる
624	キブラをエルサレムからメッカのカアバに変える（2 月）。バドルの戦い（3 月）。カイヌカー部族の追放（4 月）	
625	ウフドの戦い（3 月）。ナディール部族の追放（8 月）	
627	ハンダクの戦い（3 - 4 月）。クライザ部族の処刑（5 月）。イスラーム教徒の最初の商隊がシリアに向かったが失敗（12 月）。	ヘラクレイオス、ニネヴェの戦いで勝利（12 月）
628	フダイビヤの盟約（3 月）。ハイバル遠征（5 - 6 月）	
629	ムハンマドのメッカ巡礼（3 月）	ヘラクレイオス、コンスタンティノブルに凱旋し、聖十字架はエルサレムに返還される
630	メッカの無血征服（1 月）。タブーク遠	

	征（10 - 11 月）。ターイフの降服（12 月）	
631	ムハンマド健康を害し、アブー・バクルが代わってメッカ巡礼を指揮	
632	別離の巡礼（3 月）。預言者ムハンマド死去（6 月 8 日）。アブー・バクル初代カリフとなり、リッダの征討を開始	
633	偽預言者ムサイリマを征伐。シリア・イラクに遠征軍を派遣	
634	アブー・バクル没し、ウマルが第 2 代カリフとなる（ - 644）	
635	ムスリム軍バスラを占領（ダマスカス、和約により降服	
636	ムスリム軍ヤムルークでビザンティン軍を撃破（8 月）。カーディスィーヤの戦い（9 月）	
637	ムスリム軍メソポタミアを征服。軍事都市（ミスル）のバスラとクーファを建設	
638	ムスリム軍エルサレムを占領。	ヘラクリウス皇帝キリスト「単意論」受容
640	ウマル、エルサレムを訪問	カエサリアが降服し、シリアの征服が終わる。
640/1	ディーワーンが創始される	
641	エジプトの大長老キュロス、アラブ軍の指揮者アムルと和約を結んで降服	
642	ムスリム軍ペルシャ侵入（ニハーヴァンドの戦い）ビザンツ軍が本国に引き揚げる。アルメニアの首都を占領。アレクサンドリアを占領（9 月）現在のカイロの西南のナイル東岸に軍事都市フスタートが建設される	
644	ウマル、キリスト教徒の奴隷に暗殺される。ウスマーンが第 3 代カリフとなる（ - 656）	
649		ラテラノ教会会議。キリスト単意説

		を排斥
650	ホラーサーンの首都マルヴを占領し、イラン全土の征服を終わる。このころ『コーラン』が編集される	
651		ヤズダギルド3世が殺され、ササン朝ペルシャ滅亡
654	バスラとクーファのアラブ戦士が、反ウスマーンの暴動を起こす	
655	シリア海軍とエジプト海軍との連合艦隊が、リュキア沖の海戦でビザンツ艦隊を破り（帆柱の戦い）、アラブが東地中海の制海権を握る	
656	ウスマーン、アラブ戦士に殺され、アリーが第4代カリフとなる（-661）。第1次内乱のはじまり（-661）。アリー、タルハ・ズバイル・アーイシャの三者連合軍をラクダの戦いで破り、そのままクーファに居を構える	
657	スィッフイーンの戦い	
661	アリー、ハワーリジュ派の刺客によって暗殺され、ムアーウィヤがカリフとなり（-680）、ウマイヤ朝が成立（-750）	
670	チュニジアに軍事都市カイラワーンを建設	
674	アラブ艦隊、6年間コンスタンティノポリスを海上封鎖（-680）	
680	ムアーウィヤ没し、息子ヤズィードがカリフとなる（-683）。アリーの息子フサイン、カルバラーでウマイヤ朝軍と戦って戦死（カルバラーの悲劇）	コンスタンティノポリス総会議：キリスト単意論を破門
683	ヤズィード1世が没し、息子ムアーウィアがカリフとなるが、在位数十日で没す。イブン・アッズバイル、メッカでカリフと称して自立。第2次内乱のはじまり（-692）	

684	別系統のウマイヤ家のマルワーンがカリフとなる（ - 685）	
685	過激シーア派の首領ムフタールが、アリーの息子ムハンマド・イブン・アルハナフィーヤを奉じてクーファで叛乱（ - 687）。マルワーンが没し、息子のアブド・アルマリクがカリフとなる（ - 705）。エルサレムの「岩のドーム」の建設始まる（ - 691）	聖マロンの修道士総主教を選出：ヨハンナ・マロン
687	イブン・アッズバイルのバスラ総督ムスアブ、ムフタールの叛乱を鎮定し、ムフタール殺される	
692	ハッジャージュの率いるシリア軍、メッカを包囲してイブン・アッズバイルを殺す。第2次内乱の平定	
694	ハッジャージュ、イラク総督に任命され、弾圧政策に腕をふるう	
697	行政用語のアラビア語への統一が始められる	
698	アズラク派、タバリストーンの山中で討伐を受け全滅	
700	イラクでイブン・アルアシュアスの叛乱（ - 702）。このころワースイトを建設	
705	ダマスカスの「洗礼者ヨハネの教会」を「ウマイヤ家のモスク」に改築。ハッジャージュ、クタイバ・ビン・ムスリムを中央アジア征服に派遣。アブド・アルマリク没し、ワリードがカリフとなる（ - 715）	
710	ハッジャージュ、ムハンマド・ビン・アルカーシムをインド征服に派遣	
711	イベリア半島の征服始まる。10月にコルドバを占領	
712	クタイバ・ビン・ムスリム、シャーシュの征服を終わる	

713	ムハンマド・ビン・アルカーシム、ムルターンの征服を終わる	
714	ハッジヤージュの死。ピレネーに至るイベリア半島の征服終わる	
715	ワリード没し、スライマーンがカリフとなる（-717）	
716	アラブ海軍、コンスタンティノポリスを海上封鎖（-717）	
717	スライマーン没し、ウマル 2 世カリフとなる（-720）	
718/9	アッバース家運動始まる	
732		トゥール・ポワティエの戦い。カール・マルテルがイスラーム軍に勝利
749	アッバース家運動の革命軍ホラーサーニ、クーファに入城。アブー＝アルアッバースがカリフに推戴される（-754）	
750	ウマイヤ朝滅び、アッバース朝成立（-1258）	
751		ピピン 3 世が即位しカロリング朝を創設
756	ウマイヤ家のアブド＝アッラフマーン、イベリア半島に自立。後ウマイヤ朝の始まり（-1031）	
768		カール大帝（シャルルマーニュ）即位（在位 - 814）
787		第 2 回ニケア公会議。聖画像禁令を排斥
789	イドリース、モロッコにイドリース朝を開く（-926）	
800	バグダードに最初の天文台。チュニジアにアグラブ朝が自立（-909）	カール大帝が西ローマ帝国皇帝として戴冠
830	バグダードに翻訳センター「知恵の館」設立	
833	ミフナの設立。マームーン没、ムウタシムがカリフとなる（-842）	

836	ムウタスィム、都をサーマッラーに遷す	
848	カリフ-ムタワッキル、ムウタズィラ派の教義の公認を取り消す	
892	カリフ-ムウタディド、都をバグダードに戻す	
9C 中頃	アル・キンディー（イスラム最初の哲学者）がバグダードで活躍	
867		コンスタンティノポリス総主教とローマ教皇がお互いに相手を破門。東西教会の分裂
869 - 70		第 4 回コンスタンティノポリス公会議（東方では不承認）
871		アルフレッド大王がイングランドを統治（ - 99）
909	チュニジアにファーティマ朝おこり（-1171）、カリフと称す	クリュニー修道院設立
10C 前半	アル・ファーラービーがバグダードで活躍。イスラム哲学の基礎を築く	
929	後ウマイヤ朝のアブド=アッラフマーン 3 世、カリフと称す	
930	バフラインのカルマト派、メッカを荒らし、カアバの黒石を持ち去る	
937 頃	「バグダード論争」	
962		オットー1 世、神聖ローマ帝国成立
969	ファーティマ朝、エジプトを征服	
972	ファーティマ朝、エジプトに新首都カイロを建設。	
987		キエフのウラジミール、民と共にキリスト教徒に。フランス、カペー朝創設
992	カラハン朝おこる（-1211）	
1018		ノルマン人、南イタリアンに侵入
1031	後ウマイヤ朝滅ぶ	
1038	セルジューク朝おこる（-1194）	

1054		ローマとコンスタンティノポリス 分裂（東西教会の分裂）
1061～		ノルマン人、シチリアを征服（ - 91）
1066		ノルマンディー公ウィリアムがイ ングランドを征服。ノルマン王朝創 設
1067	ニザーム＝アルムルク、領内の主要都 市にニザーミーヤ学院を建設。アシュ アリー派の神学とシャーフィイー派の 法学の権威が確立	
1073		教皇グレゴリウス 7 世在位（ - 85）
1092	ニザーム＝アルムルク、アッサシンに より暗殺される	
11C 前半	イブン・シーナー、イラン各地の宮廷 で活動。『治癒の書』『医学典範』	
1096		十字軍アンティオキアを占領
1098		シトー修道院設立
1099		十字軍エルサレムを占領
1130		マロン派、ローマ（カトリック）に 服す
1147		第 2 回十字軍（ - 49）
1171	サラディーン、ファーティマ朝のカリ フ・アーディドを廃し、ファーティマ朝 滅ぶ	
1174	サラディーン、シリアに進出	
1187	十字軍ヒッティーンの戦いでサラディ ーンに敗北	十字軍エルサレムを放棄
1189		第 3 回十字軍（ - 92）
1194	統一セルジューク朝の滅亡	
1204		第 4 回十字軍コンスタンティノポ リスを占領
1212	ムワッヒド朝、イベリア半島から撤退	
1215		マロン派、ローマより「アンティオ キア教会」として認証
1221		十字軍ダミアッタを占領。カイロへ

		の侵攻は失敗
1228	チュニジアにハフス朝おこる (-1574)	
1232	グラナダにナスル朝おこる (-1492)	
1250	エジプトのマムルーク軍人、アイユーブ朝の君主を廃し、マムルーク朝をおこす (-1517)	
1258	モンゴル軍、バグダードを陥れ、アッバース朝のカリフを廃す。イル汗国成立 (-1411)	
1261	マムルーク朝、カイロにアッバース朝カリフを擁立 (-1517)	
1268		アンティオキア崩壊
1295		アルメニア総主教座キリキアに設置
1299	このころ、小アジア西部にオスマン朝建設される (-1924)	
1326	オスマン朝、ブルサを首都とし、国家体制を整える	
1330	オスマン朝、ビザンツ勢力を小アジアから駆逐	
1366		ダマスカス、アンティオキアの総主教座となる
1370	ティムール、サマルカンドに自立してティムール朝を開く (-1500)	
1398	ティムール、インドに遠征してデリーを占領	
1400		モンゴル軍シリア侵略、ダマスカスを占領
1413	メフメト 1 世、オスマン朝を再建	
1439		フェララ総会議、フィレンツェ合同宣言
1450		ネストリオス派総主教座世襲制となる
1453	メフメト 2 世、コンスタンティノポリスを陥れ、ビザンツ帝国滅ぶ。オスマ	コンスタンティノポリス陥落。コンスタンティノポリスのギリシャ正

	ン朝、イスタンブルを首都とする	教会総主教座は、オスマン帝国より キリスト教徒市民の指導位置を認められる
1492	グラナダのナスル朝滅び、イベリア半島からイスラーム政権が完全に消滅す	
1501	イランにサファヴィー朝建国 (-1736)	
1520	オスマン朝、スライマン 1 世即位(-66)。オスマン朝の最盛期	
1526	バール、デリーに入城しムガル朝を開く (-1858)	
1552		カルデア・カトリック教会設立
1571	オスマン帝国、キプロス占領	
1588	サファヴィー朝にアッバース 1 世即位 (-1629)。新首都をイスファハーンに設け、サファヴィー朝の最盛期	
1589		モスクワに独自の正教会総主教座設立
1662		シリア・カトリック教会設立
1699	オスマン朝、カルロヴィッツ条約により、ヨーロッパ領の大部分を失う	
1724		ギリシャ・カトリック教会設立
1740		アルメニア・カトリック教会設立
1744	このころ、アラビア半島でワッハーブ運動によって第 1 次サウード朝成立 (-1818)	
1796	イランにカージャール朝おこる (-1925)	
1798		ナポレオンのエジプト占領
1805	エジプトにムハンマド・アリー朝おこる (-1953)	
1815		コプト・プロテスタント教会誕生
1820		スミルナに最初のプロテスタント宣教師到来
1830		フランス軍のアルジェ占領
1831	エジプト、オスマン・トルコ政府に反	

	対し、レバノン占領	
1839	アブドル・メジト皇帝（オスマン・トロコ）、キリスト教徒の市民平等原理を明記した「ギュルハネ勅令」（ハットゥ・シェリフィ）を布告	
1856		「ハマユン勅令」（ハットゥ・ハユマン）でキリスト教徒の政治的平等原理を明記）
1858	イギリスによってムガル朝滅亡。インドでのイスラーム王国の終焉	
1882		イギリスがエジプトを軍事占領
1898		イギリスによってスーダンのマフディー国家滅亡
1899		コプト・カトリック教主教座を設置
1922	オスマン朝スルタン廃止（オスマン帝国の終焉）	